

松本市地域づくり推進交付金実績報告書(抜粋)

(申請者) 田川地区町会連合会

1 交付決定額	I	金 550,000 円
---------	---	-------------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名: 田川地区まちづくり協議会運営事業				
実施主体	田川地区町会連合会			
実施日(期間)	令和4年4月1日～令和5年3月31日			
実施場所	田川地区地域づくりセンター			
事業概要	まちづくり協議会における総会、理事会等の会議資料作成や各種調査・学習活動に必要な消耗品・備品の購入など			
地域づくりの成果・効果	地区の主要関係諸団体を組織化した協議体を運営していくことにより、地区住民・団体が地域課題等の解決に向け、連携を図りながら主体的に取り組んでいくことができました。			
課題	現在機能しつつある事業推進部会活動の成果や反省事項を踏まえて、客観的に事業の見直しが行える自由闊達な体制づくりを図っていく必要があります。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	153,390円	67,098円	0円	86,292円

a : 本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b : 前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c : この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名: 田川地区まちづくり事業				
実施主体	田川地区町会連合会			
実施日(期間)	令和4年7月1日～令和5年3月31日			
実施場所	田川地区			
事業概要	田川地区のまちづくりの一環として、ホテル生息地の案内看板の設置および田川地区ウォーキングマップを作成しました。 〔案内看板 1ヵ所、ウォーキングマップ A4版 カラー 300部作成〕 田川地区の行事等で使用するため、まちづくり協議会の構成団体にエプロン及び非接触型体温計を配布しました。 〔エプロン 29着、非接触型体温計 9台〕			
地域づくりの成果・効果	ホテル生息地の案内により田川地区の自然環境の保全啓発および田川地区の史跡をめぐりながらウォーキングすることにより、地域への愛着を深め健康増進に寄与することができます。 田川地区の行事等において、各団体が統一されたエプロンを着用することにより、地区一体感の醸成が図れます。また、非接触型体温計の配布によりコロナ禍における活動において感染対策の徹底が図れます。			

課 題	地区住民（役員）の高齢化が進んでいるため、活動継続に向け、次の人材を各町会で育成していく取り組みが必要です。			
決 算 額	財 源 内 訳			
	a+b+c	a	b	c
	197,362円	197,362円	0円	0円

③ 事業名： 田川地区楽育事業				
実 施 主 体	田川地区町会連合会			
実施日（期間）	令和4年7月1日～令和5年3月31日			
実 施 場 所	田川公民館			
事 業 概 要	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした地区の一大イベント「ぼんぼん・青山様のつどいと夕涼み」等で使用するワンタッチテント他を購入しました。 〔ワンタッチテント 2台、非接触型温度計 1台〕			
地域づくりの成果・効果	「ぼんぼん、青山様」を主体とした夏祭りを地区行事として開催することにより、伝統文化の継承と世代を越えた交流が図られ、地域の絆を一層深めることができます。			
課 題	「ぼんぼん・青山様のつどいと夕涼み」に関しては、イベントに携わる団体・個人を増やしていくことにより内容を充実させ、地区の一体感を生む大型イベントとして定着化を図っていく必要があります。			
決 算 額	財 源 内 訳			
	a+b+c	a	b	c
	223,850円	223,850円	0円	0円

④ 事業名： 田川地区サロン事業・健康と福祉のまちづくり事業				
実 施 主 体	田川地区町会連合会			
実施日（期間）	令和4年5月24日～令和5年3月31日			
実 施 場 所	田川公民館			
事 業 概 要	高齢者の孤立防止のための居場所づくりとして、また、健康づくり、食生活改善、防犯の学習、文化芸術の鑑賞の場として、地区内の関係団体・機関が連携して「田川地区いきいきサロン」を定期的で開催しました。 〔開催回数 11回 参加者数 延べ 445名〕 11月から12月を田川地区健康福祉月間と位置づけ、丸の内病院等の協力のもと「明日の幸せ築くまち」と題した介護予防講座を開催しました。 〔開催回数 2回 参加者数 延べ 88名〕			
地域づくりの成果・効果	高齢者の仲間づくりの促進と、高齢者を取り巻く諸課題を学び、考え、解決していく場として地区に定着しつつあり、地域における見守り・支え合いを行う環境づくりが図れました。			
課 題	常連以外の新たな参加者を増やしていくため、呼び掛けや企画内容の充実化を図る取り組みが必要です。			
決 算 額	財 源 内 訳			
	a+b+c	a	b	c
	155,266円	61,690円	0円	93,576円

※ 事業が4以上ある場合は、枠を増やして記載すること。

決算額(計) (①+②+③)	A+B+C	財源内訳		
		A	B	C
	729,868円	550,000円	0円	179,868円

A : 各事業のaの合計額

B : 各事業のbの合計額

C : 各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

該当なし

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I-A-D	金	0円
-------	---	----

[参考]繰越上限額 =  $I \times 2 / 10$